

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、
ご利用いただきたくご案内いたします。
当社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を
重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほ
どよろしくお願い申し上げます。

謹白

記

■ 実施日 2021年2月12日(金) ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目 コード	検査項目	検体量	容器	保存	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
R633 1	MYD88遺伝子 変異解析	組織 各125mg (5×5×5mm)	ARR (r)	凍結	12~14		ダイレ クトシ ーケン ス法		<div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">重</div> 裏面をご参照ください。
R634 9	CD79B遺伝子 変異解析								

留意事項

- 手術後のリンパ節125mg (5×5×5mm) を指定の容器に採取し、直ちに凍結保存してください。
- 検体に含まれる腫瘍細胞が少ない場合、変異が検出できない可能性があります。あらかじめご了承ください。



● MYD88遺伝子変異解析 ● CD79B遺伝子変異解析

びまん性大細胞型リンパ腫（DLBCL）の病型分類に有用な検査です。

びまん性大細胞型リンパ腫（DLBCL）は、非ホジキンリンパ腫の中の30～40%を占め、最も多く見られる病型です。

近年、網羅的遺伝子解析により、遺伝子発現からDLBCLは大きく活性化型B細胞型DLBCL（activated B-cell-like type：ABC-DLBCL）と胚中心B細胞型DLBCL（germinal center B-cell-like type：GCB-DLBCL）に分類することができ、予後予測・治療効果予測の観点から、これらの分類を行うことが重要視されております。

MYD88遺伝子変異およびCD79B遺伝子変異は、GCB-DLBCLと比べてABC-DLBCLで高頻度に発現し、日本血液学会の「造血器腫瘍ゲノム検査ガイドライン2020年度版」において、臨床有用性「グレード1」、診断エビデンスレベル「A」とされております。

治療薬であるブルトン型チロシンキナーゼ（BTK）阻害剤の臨床試験においても、MYD88遺伝子およびCD79B遺伝子に変異がある再発・難治性DLBCLへの有効性が確認されており、今後の開発が期待されております。

▼疾患との関連

びまん性大細胞型リンパ腫（DLBCL）
原発性マクログロブリン血症（WM）
リンパ形質細胞リンパ腫（LPL）

▼関連する主な検査項目

悪性リンパ腫総合解析「ML-NET」
IGH-BCL2 t(14;18)転座
IGH-MYC t(8;14)転座
BCL6 3q27転座

▼検査要項

検査項目名	MYD88遺伝子変異解析	CD79B遺伝子変異解析
項目コード	R633 1	R634 9
検体量	組織 各 125mg (5×5×5mm)	
容器	ARR (r) 滅菌ポリスピッツ	
保存方法	必ず凍結保存してください	
所要日数	12～14 日	
検査方法	ダイレクトシーケンス法	
基準値		
検査実施料		
判断料		
備考	本項目は、MYD88遺伝子L265を解析しています。	本項目は、CD79B遺伝子Y196を解析しています。
	<p>重</p> <p>ホルマリンなどにより固定した組織はDNAが断片化している可能性があるため避けてください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。</p>	

㊦&㊧

留意事項

- 手術後のリンパ節125mg (5×5×5mm) を指定の容器に採取し、直ちに凍結保存してください。
- 検体に含まれる腫瘍細胞が少ない場合、変異が検出できない可能性があります。あらかじめご了承ください。

●参考文献

Kraan W, et al : Blood Cancer J. 3 (9) :e139, 2013. (検査法参考文献)

一般社団法人日本血液学会：造血器腫瘍ゲノム検査ガイドライン 2020年度版（臨床的意義参考文献）